

アシスト、「ENISHI 実践ソリューション」に 「IT 運用自動化ソリューション」を新設

～あわせて IT 運用の自動化を実現する「JP1 Version 10」を販売開始～



株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、取締役社長:大塚辰男、略記:アシスト)は、自社の IT サービスマネジメント分野に関するノウハウと取扱製品/支援サービスを体系化し提供している IT サービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」に「IT 運用自動化ソリューション」を新設することを本日発表します。また、その構成製品である統合システム運用管理「JP1 Version 10」(開発元:株式会社 日立製作所)の販売を開始します。

仮想化技術の浸透やクラウドの伸長など、IT システムを構成する要素はより複雑化し、それに伴う運用管理者の作業負担が増加する一方、既存システムの維持管理や運用に必要なオペレーション対応が削減されることはありません。定形、非定形問わず、IT 運用オペレーションの効率化や作業負担に伴う運用コストへの対策、手動オペレーションによるミスの誘発防止など、IT 運用オペレーションの自動化への対応は今後益々重要となってきます。

アシストではこれまで定常業務の自動化を実現するジョブ管理をはじめ、監視業務やコンソール業務の自動化促進など個別の自動化ソリューション提供による企業システムのプロセス改善を支援してきましたが、IT 運用全体で繰り返されるオペレーション業務を効率的かつ標準化された手順にて自動化することで、安定した品質での運用改善を実現することが重要と考え、今回「IT 運用自動化ソリューション」の提供を開始することになりました。

「IT 運用自動化ソリューション」では、10月15日にリリースされた統合システム運用管理「JP1」の最新バージョン「V10」にて新たにラインナップされた IT 運用自動化基盤「JP1/Automatic Operation」を IT 運用の自動化基盤として利用し、JP1 各種製品の導入/セットアップおよび変更作業の自動化や、ユーザ・サービス等で煩雑となりやすい申請業務など IT 運用オペレーションの自動化に効果的な各種テンプレートをアシストが独自に提供します。顧客企業は、IT 運用の自動化対象や要件に応じ、アシストが提供する様々なテンプレートを利用して、IT 運用の自動化を早期に、工数をかけることなく実現可能となります。この各種テンプレートについては、今後も IT 運用オペレーションの自動化の範囲や対象を拡大し、随時提供していく予定です。

また、IT 運用の自動化を効率的に行うためには、IT プロセスが標準化されていることが重要です。アシストでは、「IT 運用自動化ソリューション」の他、イベント管理、インシデント管理、インフラ構成管理、モニタリング最適化に特化した各種「ENISHI 実践ソリューション」での支援、さらには IT 運用管理に必要なプロセスや機能を体系化した「ENISHI フレームワーク」も利用した ENISHI 全体で、IT プロセスの運用改善を推進するための標準化や最適化に向けた取り組みを支援します。

11月2日に開催するアシスト主催セミナー「JP1 最新動向セミナー 2012 ～新バージョン JP1 Version 10 発表～」では、「アシスト+JP1」による JP1 Version 10 を活用した新たな自動化オペレーション」と題して、本ソリューションの紹介を行います。

●「JP1 最新動向セミナー 2012 ～新バージョン JP1 Version 10 発表～」

日時: 2012年11月2日(金) 14:00～(13:30 開場)

会場: アルカディア市ヶ谷 5F 穂高

プログラム:

14:10～ 『日立製作所が語る JP1 の軌跡と未来』

14:30～ 『JP1 最新アップデート ～「Version 10」の全貌～』

15:25～ 『JP1 最新ユースケース ～「新製品活用紹介」～』

16:30～ 『「アシスト+JP1」による JP1 Version 10 を活用した新たな自動化オペレーション』

17:30～ 『懇親会 JP1 ユーザ交流会』

申し込み/プログラム詳細: <https://www.ashisuto.jp/seminar/?id=7566>

株式会社 日立製作所様より以下のエンドースメントを頂戴しています。

日立製作所は、株式会社アシストの「IT 運用自動化ソリューション」の販売開始を歓迎します。

アシストの IT サービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」ではこれまでも日立の JP1 製品が活用されていますが、今回、新製品である IT 運用自動化基盤「JP1/Automatic Operation」を活用した「IT 運用自動化ソリューション」が新たに加わることで、アシストの経験、ノウハウを加味した IT 運用自動化が早期に実現でき、お客様の IT 運用プロセスの効率化に貢献できるものと確信しております。

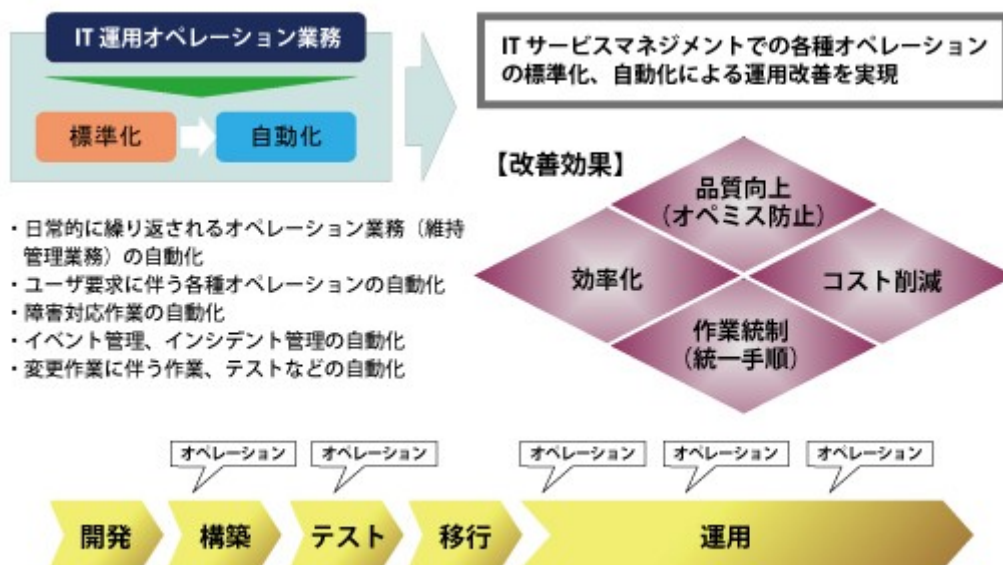
日立は今後もアシストとのパートナーシップを通じて、お客様のニーズに合った製品を開発してまいります。

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社
IT プラットフォーム事業本部 開発統括本部 統合 PF 開発本部
担当本部長 青島 達人

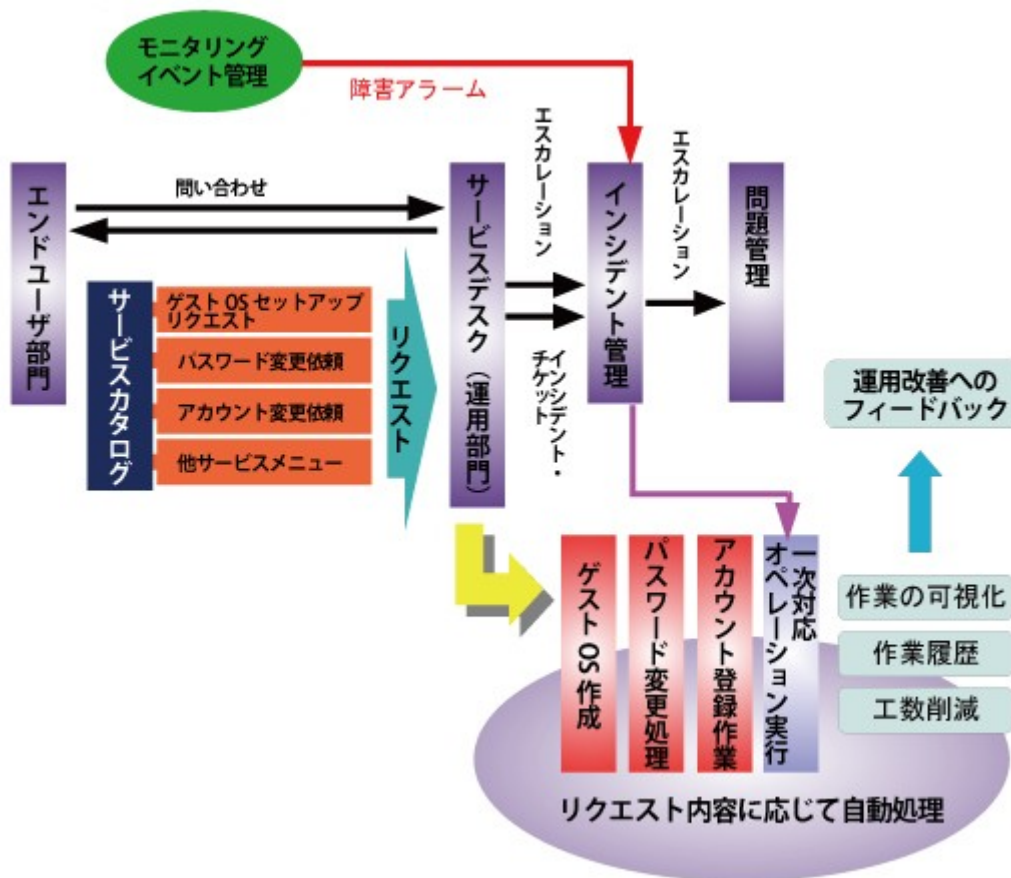
■「ENISHI IT運用自動化ソリューション」について

IT運用業務に関わる様々なオペレーションを「標準化」、「自動化」し、IT運用業務の効率化と品質向上を支援するソリューションです。日常的に行われる定常作業を始め、サーバのセットアップやソフトウェアの導入など、手順の標準化できるオペレーション業務を自動化し、IT運用業務の効率化及び品質向上のための運用改善を支援します。

● IT運用自動化ソリューション概要



- IT運用自動化ソリューション・ケース
 - ・ ユーザ・リクエスト対応の自動化
 - ・ 障害対応の自動化



■ITサービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」について

アシストは、各種運用管理ツールの取り扱いと年間5,300社以上の顧客企業への技術支援で培った経験、ノウハウ、事例をもとに、最小の設計と実装負荷で、高品質なITサービスを提供できる仕組みをITサービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」として体系化しました。「ENISHI」では、障害監視やバッチ・ジョブ運用の自動化などの「運用管理の基盤整備」から、定期報告／分析やインシデント管理などの「品質向上」、さらに事業継続計画策定やSLM(サービス・レベル・マネジメント)などの「最適化」に至るまで、IT運用管理に必要なプロセスや機能をすべてフレームワークとして体系化しているため、自社の取り組み状況と照らし合わせ、次に取り組むべきステップを明確にすることができます。また、取り組むべき課題に対して、IT運用管理の改善に必要なプロダクトと支援サービス、そしてノウハウを組み込んだ「イベント管理強化ソリューション」、「インシデント管理強化ソリューション」、「インフラ構成管理ソリューション」、「モニタリング最適化ソリューション」、そして今回「IT運用自動化ソリューション」を新たに加え、アシスト独自の「ENISHI実践ソリューション」として提供しています。

■株式会社アシストについて

代表取締役会長:ビル・トッテン
取締役社長:大塚 辰男
設立:1972年3月
社員数:830名(2012年4月1日現在)
本社:東京都千代田区九段北4-2-1
URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースのそれぞれの分野で支援しています。今年創業40周年を迎えたアシストは、ツールやサービスのアシスト独自の組み合わせにより「メーカー」を超える価値の提供を目指して活動しています。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当:田口
TEL:03-5276-5850 FAX:03-5276-5895
E-Mail:press@ashisuto.co.jp

■「ENISHI」および「IT運用自動化ソリューション」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト システムソフトウェア事業部 技術1部 担当:蝦名/岡村/漆戸
TEL:03-5276-5565 FAX:03-5276-5879
E-Mail:ssj_info@ashisuto.co.jp
詳細URL:<http://www.ashisuto.co.jp/solution/enishi/>

- ※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ※ ニュースリリースに記載された製品/サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。